

研修名	災害・事故時のこころのケア対策事業関係職員研修 「北九州市の防災体制と災害支援の心がまえ」
講師	○「北九州市の防災について」 北九州市危機管理室危機管理課より説明 ○「災害時の心理的支援～サイコロジカル・ファーストエイドについて～」 国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 行動医学研究部 研究員 大沼 麻実 氏
開催日時	令和3年8月17日（火）13：30～15：30
開催方法	Webex Meetings を用いたオンライン研修
申込者数	40名（内訳：北九州市役所職員、医療機関・相談機関等の職員など）
参加者数	約28名
研修の 内容等	<p>市職員や被災者の支援に携わる可能性がある医療機関・相談機関等の職員を対象に、北九州市の防災体制や防災に関する知識、また災害時のこころのケアについての知識・対応等を学び、相談支援技能を高めることを目的として研修を実施した。</p> <p>研修の中では、災害対策基本法の一部改正にかかる避難情報の変更や、災害時の情報収集について、サイコロジカル・ファーストエイドの基本的な考え方、活動原則、被災者のこころのケアだけでなく、支援者自身や同僚へのこころのケア等について学んだ。</p>
参加者の声	<ul style="list-style-type: none">• 言葉のかけ方や間のとり方、情報を集めて正しい情報のみを伝えるなど、日頃の相談援助技術として、大いに役に立つと思った。• もし、自分が被災地に赴くことがあった時に、被災者とどのように接すればよいか、初歩的なことがよくわかった。• 相手の立場に立ち傾聴することがいかに大切であるか再認識できた。• 何気ない言葉で被災者の方を傷つけてしまわないよう気をつけながら、寄り添えるようになりたいと思った。• 自分が対応する立場になった時にどうしたら良いか考える機会もあり大変勉強になった。やり取りの実際を録画した映像も、イメージしやすくなって、よかった。